

## 4. ベクトル束の接続と曲率

### 曲率の定義

$M$  を可微分多様体とし,  $\pi : E \rightarrow M$  をその上の  $C^\infty$  級ベクトル束とする.  $E$  の  $C^\infty$  級切断全体を  $\Gamma(E)$  で表す.  $E$  上の接続

$$D : \Gamma(E) \rightarrow \Gamma(T^*M \otimes E)$$

が与えられているとする. このとき, 線形写像

$$\widehat{D} : \Gamma(T^*M \otimes E) \rightarrow \Gamma(\wedge^2 T^*M \otimes E)$$

で, Leibniz の規則

$$\widehat{D}(\theta \otimes s) = d\theta \otimes s - \theta \wedge Ds$$

を満たすものが一意的に定まる.

切断  $s \in \Gamma(E)$  に対して

$$Ks = \widehat{D}(Ds)$$

とおく.  $Ks$  の  $x \in M$  における値は  $s(x)$  のみによる.  $K$  を接続  $D$  の曲率テンソルとよぶ. 曲率テンソルは  $M$  上の  $C^\infty$  級関数  $f$  に対して

$$K(fs) = fKs$$

を満たす.

### 曲率の局所的な表示

接続を局所枠  $\{s_i\}$  に対して

$$Ds_i = \sum_i \omega_i^j \otimes s_j$$

と局所的に表示すると, 曲率テンソルは 2 次微分形式

$$\Omega_i^j = d\omega_i^j - \sum_k \omega_i^k \wedge \omega_k^j$$

を用いて

$$Ks_i = \sum_j \Omega_i^j \otimes s_j$$

と表される. これを行列  $\Omega = (\Omega_i^j)$ ,  $\omega = (\omega_i^j)$  を用いて表示すると

$$\Omega = d\omega - \omega \wedge \omega$$

となる. 別の局所枠についての曲率テンソルの行列表示を  $\Omega'$  とすると, 局所枠の変換行列を  $A$  として

$$\Omega' = A\Omega A^{-1}$$

が成立する.

### 曲率作用素

$M$  上の  $C^\infty$  級ベクトル場  $X, Y$  に対して, 曲率テンソルから線形写像

$$R(X, Y) : \Gamma(E) \longrightarrow \Gamma(E)$$

が  $R(X, Y)s = (Ks)(X, Y)$  によって定まる. 局所的に  $s \in \Gamma(E)$  を  $s = \sum_i f^i s_i$  と表すと,  $R(X, Y)$  の表示は

$$R(X, Y)s = \sum_{i,j} f^i \Omega_i^j(X, Y) s_j$$

で与えられる.  $R(X, Y)$  を曲率作用素とよぶ. これは, 共変微分を用いて

$$R(X, Y) = \nabla_X \nabla_Y - \nabla_Y \nabla_X - \nabla_{[X, Y]}$$

とも表される.

### Bianchi の等式

曲率テンソル  $\Omega$  は Bianchi の等式

$$d\Omega = \omega \wedge \Omega - \Omega \wedge \omega$$

を満たす.